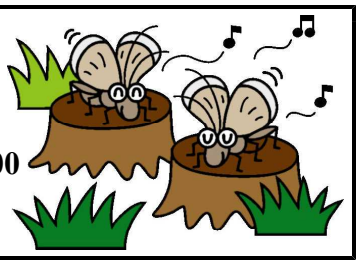
原っ子

学校だより №22（通算65号）
令和５年９月４日
小郡市立大原小学校
校長　山本貴澄　Tel 72-5500



今年度の重点目標「学び合い 助け合い やり遂げる集団づくり」
合言葉「チャレンジ！ みんなでまなぶ やりとげる」

９月に入りました。まだ暑い日が続いていますが、空に浮かぶ雲の様子には少しずつ秋の気配を感じています。これからよく見られるのは、うろこ雲（巻積雲）です。さかなのうろこのようにたくさんの小さな雲のかたまりが空をおおいます。いわし雲とかさば雲と呼ばれる雲も同じような秋の雲です。子どもたちには、身の周りの自然にも目を向けて、季節の移り変わりを感じてほしいと思っています。

９／７ 人権学習参観・学級分会での内容について

◇学習参観 １３：５０－１４：３５　◇学級分会 １４：５５－１５：４５
◇内容

	【教材名・ねらい】	【学級分会での内容】
１年生	**わたし だいすき はっけん** 好きな色を自分で決めて友達に話す。好きな色が同じ人もいれば違うひともいることから、人それぞれいろいろな感じ方があることに気づき、認め合う。	授業内容や感想 教科書無償制度 学び場支援事業 教育条件整備
２年生	**いい　ところ　みいつけた** 自分や友達のよいところについて考え、よいところがあるととてもうれしい気持ちになることに気づき、自分のよいところを見つけていこうとする。	授業内容や感想 多様性（LGBTQ の内容を中心に）
３年生	**自分はどんな気持ち？** みんなそれぞれ違った気持ちがあることを知り、互いの気持ちを認めることができる。気持ちを正しい行動で相手に伝えることの大切さに気づく。	授業内容や感想 総合的な学習「アピールしよう小郡市」 人権でつなぐまちづくり 大原リバティセンター
４年生	**わたしのせいじゃない** 教材の中で「いじめ」を傍観している子に視点を当て、周りの友達の様子に気づき、自分のこととして捉え行動する大切さについて考える。	授業内容や感想 総合的な学習「伝え合おう、わたしたちの心」 障がい者理解 ユニバーサルデザイン
５年生	**ありのままの自分** 苦しんでいる友達が笑顔になれたのは、性の多様性を受け止めてくれる友達がいたからだということに気づき、その人のありのままを受け入れていこうとする。	授業内容や感想 人権のまちづくり 教育条件整備 身近な人権問題
６年生	**「室町文化と力をつける人々」～龍安寺の石庭～** 中世の民衆の考え方から、当時差別されていた人たちがいたことを知り、龍安寺の石庭に名前を残した職人の思いについて考える。	授業内容や感想 人権・部落問題学習（社会科教科書や部落差別解消推進法から）

人権とは、誰もが大切にされ、幸せに生きられる権利です。子どもたちが学ぶことは、必ず自分や周りの人、果ては世界中の人々まで大切にして、一人ひとりが幸せな未来を築いていける力になると信じています。この機会に私たち大人も自己啓発や子どもたちのよりよい成長への支援のために一緒に学びませんか。多くの方の参加をお待ちしています。

学校は楽しいですか？
～子どもたちへのアンケートから～

昨年度の生活アンケートの結果では、「学校が楽しい」と答えた子が、**81.9** ％（令和３年度よりも減少）、「自分のことが好き」と答えた子が、**65.3** ％（令和３年度より微増、約３割の子は自分のことが好きではない）という課題が出ました。

これらの課題を改善していくためには、気持ちよく学校生活が送れ、安心して過ごせる場として学校があること、家族や友達から大切にされ、自分のよさに気付き、自信につながる実感を自分の中にもてることが必要です。

そのため、４月に実施した学校づくり説明会で、【分かる、楽しい授業 学び合う集団づくり 信頼できる先生】の３つを挙げて、今年度の取組について保護者の方にお知らせしました。学習が分かり、子ども同士や先生との信頼関係や温かい教室の雰囲気づくりは、学校教育において人権感覚を育てていくための基盤であり、何よりも一番に学校や学級の中で取り組んでいかなければならないことです。そのため、本校では子どもたちが、「学校が楽しい」「自分のことが好き」と思える子を増やすことを中心に置いて、重点目標「学び合い 助け合い やり遂げる集団づくり」を達成していきたいと考えています。

夏休み前、４月からこれまでの学校生活や私たちの取組が子どもたちにとってどうだったのかを検証するために子どもたちにアンケートをとりました。この結果については、夏休み明けに子どもたちにも知らせました。

★アンケートの結果

【学校が楽しいですか】令和４年度 **81.9** ％→夏休み前 **86.6** ％

【自分のことが好きですか】令和４年度 **65.3** ％→夏休み前 **69.5** ％

幸いにして昨年度よりも子どもたちの意識はどちらともプラス方向へ動いていました。

【学校が楽しい】理由は、「友達としゃべったり、遊んだりできる」「係やクラブ、委員会活動がある」「好きな授業がたくさんできる」「いじめがなく、にぎやか」「先生が楽しい」、【楽しくない】理由は、「勉強がいや」「まちがっているときに笑われる」「いじめられている気がする」「授業中にザワザワしている」「たたかれたり、いやなことを言われたりする」などでした。

【自分が好き】な理由は、「努力している」「友達や家族を大切にしている」「みんな自分の存在やよいところを認めてくれる」「得意なことがたくさんある」【きらい】な理由は、「自分の考えをあまり言えない」「勉強が苦手」「きらわれている」「性格が悪い」「人をたたいたりしてしまう」「うそつき」「すぐいらつく」「友達と話せない」「運動ができない」などでした。

コロナへの対応が緩和され、学習や遊びの中で友達との交流や自分の力を発揮できる場面が増えてきたことがプラス方向へ動いた理由として挙げられますが、一方で、友達からいやなことをされたり、自分への劣等感を挙げたりする子もいました。

「学校が楽しい」「自分のことが好き」と答えられなかった子をどう支援していくかが鍵です。まずは、学習や生活面での子どもの様子を細かにつかみ、その子のよさはその子が自覚できるように価値づけてほめ、課題があるときにはその背景にある原因を探りながら改善策に取り組んでいくこと。さらに、人権学習や道徳を通して、自分も周りの人も大切にして、自信をもって生活できる子どもを育てていくこと。学校生活の中でやり遂げた実感を得られる活動を意識してつくっていくこと。このような実践を積み重ね、「学校が楽しい」「自分のことが好き」と思える子がさらに増えるよう願っています。

前期後半が始まって１週間
～お子さんの様子はいかがでしょうか？～

夏休みが終わり、学校が始まって１週間がたちます。お子さんの様子はいかがでしょうか？長期休業明けの時期には、学校生活での不安や悩みが膨らんで心が疲れてしまったり、体の不調を訴えたりする傾向があります。学校では、子どもたちの心や体の様子を把握し、気になる子にはすぐ対応できるように努めています。お子さんについて何か心配なことがありましたら、学校までご遠慮なくお知らせください。